|  |  |
| --- | --- |
| ※　受験番号  （記入しないこと） |  |
|  | |

○法学研究科入学試験利用受験

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| フリガナ  氏名（自署） |  |  |
|  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 志望分野名  志望する分野を一つチェックすること | □基礎法学  □公法  □民刑事法  □政治学 |
| 研究を志望する科目 | 以下の「選抜方法　学科試験　※試験科目」の(b)専門科目の中から一つ選択し記載すること。  科目名： |

以下の「選抜方法　学科試験　※試験科目」の中から分野、専門科目を一つ選択すること。

＊　総合生存学館は、入学予定者が法学研究科の修士課程に相当する期間は法学研究科教員の研究指導を受けることを希望する場合、上欄に記された「研究を志望する科目」及び「受入承諾書」をもとに、法学研究科教員への研究指導を委託します。

「研究を志望する科目」は、法学研究科の修士課程に相当する期間を通じて原則として変更することはできません。（法学研究科教員の研究指導を希望する場合）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 選抜  方法 | 学科試験 | 受験科目 | 外国語  科目(A) | □　英語　　・　　□　ドイツ語　　・　　□　フランス語 | |
| 専門科目  （2科目） | 研究を志望する科目(B) | 左記以外の1科目(C) |

Ａ．（a）の外国語科目の中から1科目

Ｂ．法学研究科の修士課程に相当する期間において研究を志望する科目（※（b）専門科目を参照）1科目（専門科目①）

Ｃ．（b）専門科目の中から、上記Ｂ．で選択したものを除く1科目（専門科目②）

**選抜方法　学科試験　※試験科目**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （a）外国語科目 | 英語 　ドイツ語 　フランス語 | |
| （b）専門科目 | 基礎法学分野 | 日本法史 西洋法史 ローマ法 東洋法史 法哲学 法社会学　フランス法 |
| 公法分野 | 憲法 行政法 租税法 国際法 |
| 民刑事法分野 | 民法 商法 経済法 知的財産法 労働法 社会保障法  民事手続法（試験範囲は民事訴訟法に限る。） 国際私法 国際取引法  刑法 刑事手続法 刑事学 |
| 政治学分野 | 政治学 政治思想史 政治史 日本政治外交史 　国際政治学  国際政治経済分析 比較政治学　アメリカ政治 政治過程論 行政学  公共政策 |